



### 第2回気象講習会

## 基礎的な知識や天気図の書き方

第2回気象講習会(三河地区)が、2月19日に私立豊川高等学校にて行われました。講師に田辺元祥先生(高体連)を迎え、午前中は基礎的な気象知識の講習を受けた後、気象通報の聞き取り方や天気図の作成方法を学びました。午後からは天気図の読み方や予備知識などの講習を受けました。受講者は山岳会員2名、高校生が9名でした。(岩狭)

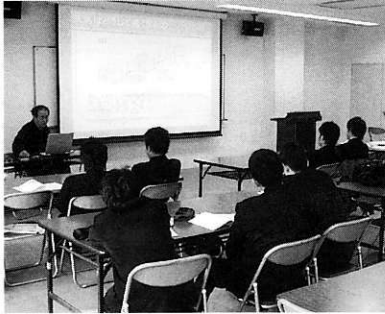
### 気象講習会に参加して 気象情報に関心持つ 岡崎山岳会 荒木美智子

安全登山のために気象を学ぶことは必要だと思えます。山に行く前はネットの天気を見る程度で、山の上で天気図は書いたことがありません。また天気図はなんとか書いても読んだり予測したりができません。気象を理解することも山登りの一つの楽しみだと考えています。こんな私です。が少しは進歩したくて受講することにしました。講習会を受ける前に本を読んだりネッ

トの天気図をまめに見たりとそれなりに準備もしました。受講の機会がなければやらないことです。

午前中は地上天気図の書き方の講義の後、実際に聞き取りながら記入しました。等圧線を引くのは苦手でしたが、だんだん引き方のコツがわかってきました。午後からはフェーン現象・高度地表面温度などの説明といろいろな天気図の説明がありました。

講義を聴いていて、地上天気図だけでは天気の予測は不十分で高層天気図の読み方の必要性を感じました。私は高層天気図はまったくわからないので、ある程度はわかるよ



うになりたいと思いました。今日の講義の内容を全部理解するのは無理なので、これから気象に関心を持ち続けて、安全登山のために役立てたいです。

### 指導員集会開く

#### 資格更新や手続示す

名古屋地区の指導員集会が2月14日(火)県スポーツ会館で行われました。主な内容は次のとおりです。

1. 活動報告
  - (1) 新指導員制度について  
指導員、コーチなどの指導対象と取得状況。
  - (2) 指導員資格更新について  
更新者の指導員実績資料は、すでに日山協に提出済み。資格更新に伴う事務手数料は各自において3月31日までに対応する。
  - (3) 愛知岳連名誉指導員の申請は現在まで6名。
  - (4) 上級指導員養成講習会  
愛知で実施するが、20人に達しない場合は、東海3県で共同開催する。
- ※日山協指導員総会において新しい指導員規約、検定基準が示されるので、それに伴って見直し・改定を進める。

### 第34回愛知岳連親睦スキー大会

## 和やかな中に競技を楽しむ!!

～団体は豊橋山岳会が4連覇～

恒例の親睦スキー大会が2月5日(日)、イトシロシャロー

トスキー場で開催された。大雪との予報が出される中、小雪の中に薄日も差すという天候と上々な雪質に恵まれ、和やかな雰囲気の中で回転競技を楽しむことができた。参加人数は35名と若干少なめではあったが、昨年度に比べ6名の参加者の増加をえたことは、主催者としては喜ばしいことであった。

レースは、昨年度の覇者である豊橋山岳会の柴田高教さんが連覇し、2位には犬山山岳会の磯山登さん、3位には豊橋山岳会の鈴木良和さんが入った。また、団体優勝も豊橋山岳会が圧倒的な強さで4連覇をかざった。また、競技後の閉会式では、協賛店から快く提供していただいた豪華賞品に盛り上がった。

最後に、石川会長の挨拶にあったとおり、より多くの会員の参加を得ることで、次回大会のさらなる成功と発展につながることを祈りたい。

#### (記録)

##### ◆個人の部

- 優勝 柴田高教(豊橋山岳会)
- 2位 磯山 登(犬山山岳会)
- 3位 鈴木良和(豊橋山岳会)
- 4位 渋谷尚紀(フェアリー)
- 5位 加藤千統(犬山山岳会)

##### ◆団体の部

- 優勝 豊橋山岳会 A
- 2位 犬山山岳会 A
- 3位 安城こもれび A

本大会の賞品につきましては、以下の協賛店のご協力を頂きました。紙面を借りて厚く感謝を申し上げます。

- アルパインツアーサービス、
  - 駅前アルプス、カジタックス、
  - ステラアルピーナ、穂高、
  - 三国屋、モンタニア
- (アイウエオ順)



冬山合宿報告

チーム猫屋敷

甲斐駒ヶ岳北岳塩見岳

《行程》2005・12・23

《2006・1・2

〔メンバー〕山口、後平、田村、渡邊

▼12/23(金) 名古屋⇨長坂⇨竹宇駒ヶ岳神社

▼12/24(土) 竹宇駒ヶ岳神社 7:00⇨黒戸尾根⇨七丈小屋15:00

いよいよ合宿スタート。2週間以上かけて、南アルプス全山縦走&北岳パトレスの予定。重い荷物を背中に、一歩を踏み出す。

五合目小屋までは、ピーヒー言いながらも、順調に高度を稼ぐ。五合目小屋で、アイスを登りに来たクライマーの方々と会う。今年は雪が多く、ほとんどのパーティーが敗退したという。先が思いやられる。

五合目⇨七丈小屋までは、それまでと一転、急登となる。腐った木の梯子に身をゆだね、ヒヤヒヤしながら登って行く。疲れた体に鞭打って、七丈小屋到着。次の日に備え、サッサと寝る。今日はクリスマスイブなのに、男二人とは…。

▼12/25(日) 七丈小屋7:20⇨甲斐駒ヶ岳11:20⇨11:50⇨駒津峠14:40⇨仙水峠⇨仙水小屋16:40

七丈小屋からは、トレースが無く朝一からラッセル。雪まみれになりながら、雪壁、岩場を登り、山頂へ。順調な行程と最高な青空に、気分良くノンビリ休憩する。

甲斐駒から駒津峠へ向かう。全くトレースの無い中、雪を掻き分け、ハイ松に掴まりクライムダウンし、岩場を歩く。

頂上までの行程が嘘のように、スピードがあがらない。三時間かけて、やっと駒津峠の頂上到着。

駒津峠からはトレースがあり、多少はスピードアップ。でも、深い雪に足をとられ途中でワカンを装着し、仙水小屋までトボトボ歩く。テントを張ったのは、暗くなってからでした。

▼12/26(月) 仙水小屋6:30⇨北沢峠7:30⇨小仙丈岳11:00⇨仙丈岳手前14:30

昨日は遅かったけれど、行程を取り戻すため、早起きして先を急ぐ。平坦な道なので、すぐに北沢峠着。ここから先も、ほとんどトレースは無し。ラッセルに苦しみつつ、小仙丈岳を通過。

森林限界を越えたあたりから、強風にさらされる。仙丈

岳への登りで、胸までのラッセルと体が吹き飛ばされるほどの強風に行く手を阻まれる。この日、全国各地で記録的な強風が吹いていたのだから、たまらない。

先へ進むことを諦め、仙丈岳と小仙丈岳の間のくぼ地にテントを張る。ポールがしなり、狭くなったテントの中で、おやすみなさい。

▼12/27(火) 仙丈岳手前7:00⇨北沢峠10:30⇨広河原14:00⇨池山吊尾根取付15:30

今日もかなりの強風。今後の行程と雪の量を考え池山吊尾根組と合流できない可能性があったため、仙塩尾根を諦める。代わりに、広河原経由で北岳を目指す。前日のラッセルのお陰で、スピーディに北沢峠着し、そのまま林道歩きへ。

世の中には物好きがいるもので、広河原へ続くトレースがある！ありがたく使わせていただき、先を急ぐ。次第に雪が減り、広河原周辺の雪の少なさには、ビックリ！

池山吊尾根取付で、渡辺・後平のパーティーと無事合流。再会を祝して、久しぶりの豪華な食事と酒にありつく。

▼12/28(水) 池山吊尾根取付6:30⇨池山小屋10:30

池山吊尾根取付で、渡辺・後平のパーティーと無事合流。再会を祝して、久しぶりの豪華な食事と酒にありつく。

一砂払手前(森林限界手前) 14:45

長い長い池山吊尾根なので、早めに出発。取付直後の急登が結構いやらしく、ゆっくりに確実に登る。途中からは傾斜も落ち、池山小屋着。いつも通りトレースも無く、ワカンを着ける。皆でガンガンラッセルし、森林限界まで辿り着く。

風を考え、森林限界ギリギリの斜面にテントを張り、明日以降に備えて就寝。

▼12/29(木) 砂払手前6:30⇨八本歯のコル10:00⇨11:00⇨北岳12:30⇨13:00⇨八本歯のコル14:30

テントをたたみ、荷物をまとめて出発！…したとたん、後続パーティーとばったり会う。ラッセルは我々の役割らしく、彼らは次第に後ろに離れていく。八本歯のコル手前、岩場がかなりいやらしく、一箇所懸垂下降する。

八本歯のコルにテント設置後、北岳頂上へ。慎重に高度を稼ぐ。昼ごろに頂上到着！風はあるが抜群に天気は良く、360度の大パノラマを満喫。後からも数パーティーが登頂し、久々に多くの人に会うことができた。

テントサイトを下山後、山口・後平が北岳パトレスを偵察する。今年はこの時期にしては雪が多く、第四尾根抜

けてから雪崩の危険がありアタック中止を決定する。また半年前に骨折した田村の足の怪我がおもわしくなく、今後の予定を三伏峠までとする。よって、明日の行程は熊ノ平までとし翌日を休養日と決めた。

▼12/30(金) 八本歯のコル7:00⇨北岳山荘9:00⇨9:30⇨間ノ岳12:00⇨三峰岳13:00⇨熊ノ平小屋15:30

頂上への道を途中までたどり、途中から北岳山荘に向かつてトラバース。部分部分雪面を横切り、無事に山荘到着。山荘手前から、天候が悪化し、時々ホワイトアウト状態となる。しかし、なだらかな稜線なので、問題なく距離を稼いでいく。風にあおられつつ、間ノ岳通過。三峰岳へも、特に問題になる場所は無く、順調に進む。

三峰岳から先、一部岩稜帯あり。小屋手前では、深めの雪。ひとふんばりのラッセルで、小屋到着。

▼12/31(土) (休養日) (熊ノ平小屋にて)

快晴の天気だけ今日一日は休養日。小屋の前のテラスで湿りきったシュラフや衣類など乾しのんびりと過ごす。

▼1/2(月) 塩見小屋7・30  
 三伏峠11・00 塩川小屋  
 12・30 鹿塩温泉15・30  
 伊那大島 名古屋

今日は合宿最終日となる下山日。もうこれで終わるかと思ふと、寂しさが湧き上がる。と同時に、力不足をさらに実感する。

トレースのお陰で、昨日とは違って変わってスピードが上がる。予定より早く、塩川小屋着。しかし、営業はしておらず、携帯も繋がらない。途中にある温泉旅館まで歩き、タクシーを呼ぶ。電車の中で

▼1/1(日) 熊ノ平小屋6・30  
 北荒川岳13・00 塩見  
 岳16・10 16・30 塩見  
 小屋17・30

行程が長いこともあり、早起きして出発。テントが乾いているからか、荷物が軽い!? いつも通りトレースは無く、ラッセル、ラッセル、ラッセル。ラッセルを続けて、安倍荒倉岳、新蛇抜山を通過。北荒川岳手前で、ハイ松帯のラッセルにかなり苦しむ。

塩見の急登に最後の力を振り絞り、山頂着! 富士山をバックに各自好きなポーズで写真を撮る。下りは岩場の急斜面、しかも夕暮れ。夕日の美しさに見とれながらも、慎重に下る。塩見小屋前にテントを張り、長かった一日が終了。

〈感想〉今回の冬山合宿は長期縦走と登攀を組み合わせた計画だったが、実際は三伏峠までの縦走だけで終わってしまった。しかしながら、我が会初めての冬山合宿としては長期で山に入る事により、新人にとっては生活技術や歩行技術が身につく事ができ、それなりに充実した合宿だったと思う。また今回の長い山行では連絡先に携帯電話が通じる所では連絡をとるようにした。今後もう少し自分達の實力を高め、もう一度この計画にチャレンジしたいと思う。(山口)

**名古屋山岳会**

**甲斐駒・黄蓮谷左俣**  
 (メンバー) 野邊教史  
 加藤義彦

12月29日7時に宇竹神社を出発した。雪は少ないがとても冷え込んでいる。6人(黒戸尾根4人と合わせて)が連なっていく。伊藤を先頭にして進む。途中氷化しているところがあり、刃渡りは一歩躊躇するが視界が広がり、気持ちが良いところだ。5合目の小屋に着いたのは13時30分。吉村隊に翌日の食事、酒などをデポさせてもらい、黄蓮谷取り



付きの岩小屋へ向かう。テント持参なので、快適な夜を過ごす。しかし明日、この快適さは重さとなって身を痛めることをこの時点では気づいてはいなかった。

30日、4時に起床する。6時30分に出発した。最初の小滝は滝つぼが凍っておらず、巻くことにした。雪はさらさらの新雪で深いところはラッセルがしんどい。坊主ノ滝より登攀。加藤トップ、つるべで行った。ピッチで抜けて、その後はコンテで進んだ。8時30分二俣について小休止した。

結構しんどいと思えるが、どうやら荷物のせいもあるようだ。登攀具類をザックから出して、こんなに重いと少しは少なかった。II級程度の氷はコンテで進む。やや薄いとところがある。チムニー滝はスタカットしたが、この辺はあまり記憶がない。

12時過ぎようやく、核心の60m垂直の滝にた。下から見上げると上が圧縮されて終

了点が見えない。野邊トップで右手のシャンデリア状に取り付いた。途中休憩が取れそうなどころがあるような気がしたので、こちらに取り付いたのだが、やはりシャンデリア状の垂直はアックスが決めにくく、空身で行った割に怖い思いをした。加藤はセカンドとはいえ、重いザックを背負い、このラインを登ったのだから、40代とは思えないパワーだと改めて驚かされる。

その後は二人で残りのザックを引き上げ、彼がその上を登っていった。すべて終了したときすでに時計は16時30分。最後をカットし、そのまま左手の沢に入るが、途中非常に傾斜がきつくと、わずかな灌木があるだけで、かなり悪いところだった。稜線に19時30分。ずいぶん歩いた21時40分。ようやく5合目。吉村隊のテントを見つけ、アンパヨと声をかけると、すぐライトがついた。すぐ幕営したが、吉村隊の人々からいただいたお茶が温かくて仲間をありがた

31日、下山のみ、のんびり8時頃出発。加藤は足を心配してゆっくり降りていたが、野邊が今日の夕方までに大阪に帰りたいとわがままを言い、最後は飛ばして戻って、11時30分駐車場に戻った。(野邊)

お茶が温かくて仲間をありがた

お茶が温かくて仲間をありがた

おしゃれにとめる

\*さつととめて  
 サマになるワンポイント。  
 おしゃれもアクセサリの  
 使い方ひとつであなただを  
 ひきだします。

ワンタッチ・ボタン

**パチット**

株式会社 丸善製作所

●本社 名古屋市中区栄5-18-11 PHONE ☎(052)263-1511

名古屋・伏見 **長者町** の山用品専門店

OUTDOOR-GOODS PRO SHOP

**ステラアルピーナ**  
 (旧シャツバーム)

名古屋市中区錦二丁目5-31 長者町相互ビル2F ☎052-231-0739  
 営業時間/11:00~8:30pm(日曜日は7:00pm迄)

### 戸台川駒津沢・上ニゴリ沢

(メンバー) L岡田守史  
杉田直美、小川義夫

29日朝、車のそばでは役場の方達が焚き火をしていた。温まりながら準備、登山届けを出して出発。平坦な単調な道を3時間、未開拓の岩壁、ボルダーの壮大な景観を眺めつつ丹溪山荘に着。山荘直下トイレも近く、沢の水も汲める絶好のテント場である。登攀に使わない物をテントに放り込んで、偵察を兼ね本谷をつめる。15分も歩くと左手に舞姫の滝が壮大に眺めることができる。そこから先、右手に舞鶴、鶴姫、ルンゼの踏み跡を確認。奥に進むと七丈ノ滝がドンと構えている。息を呑むほどの大きさだ。隣の象の鼻は下部まで繋がっていない。更に詰めると本谷のF1が構えている。グレードはⅢだが、もつと難しく感じる。(アイゼンが縦走用の上、全く研いでいなかったことが大きい)時間がかかると何とかが抜けた。しかしここでトラブル発生。セカンドで登っていたアイゼンの刃がザイルを貫通してしまった。ただ、端末から6メートルほどのところなので結び直しF1は抜けた。時間の関係もありF2を確認してテントに帰る。夜は久々のテ

ント生活。(このところツエルトだった)快適で暖かい。夕食はすき焼きを腹いっぱい食べる。そして明日に備えアイゼンの爪を研きバイールの牙を磨く。ほとんどは小川が研いたが、まるで職人技。

30日、暗いうちから起き出し出発。昨日の道をたどる。まずは昨日のおさらい。F1を登る。足のかかりが多少良いように感じる。それから2人を引き上げ終了さつさとF2へ。昨日は遠くから眺めただけが近づくと下が滝壺、落ちるとずぶ濡れ、慎重に登る。登りきるとそこには駒津沢F1が鎮座していた。休憩を取った後、登攀開始。やはり足の利が悪い。アイスピトンをもめに決めて登る。40メートルで1ピッチ目を切り2人を引き上げる。2ピッチ目は段々と傾斜が緩むが気が抜けない。F1を抜けるとすぐ前にはF2があるが時間オーバー。ここまでで思いのほか時間がかかった。しかし核心のF1は抜けたので満足。2回の懸垂で下降し早々とテントに帰った。

31日、寝坊するも本日は上ニゴリ沢と下山のみ。テントを撤収して上ニゴリの分岐に要らない荷物をデポ、空荷で登るが以外に遠い。特に氷瀑が見えているのに…。やつと

のことで到着、登攀準備。ルートを取り方によって色々楽しめる。F1は杉田がリード、左から右上へスカイライン直下に抜ける。道沿いにいくつか氷瀑を見ることが出来る。F2は小川がリード、安心して見ていられる安定感がある。獣の踏み跡らしきしかない沢をつめてF3へ。F3はあまり発達しておらず、ここで終了。元の道へ戻る。周囲が暗くなりかけた頃分岐に戻る。ここからは安全な平坦な単調な道、戸台の氷瀑に後ろ髪ひかれる思いで名残惜しかったが、次に来るときは更に上手くなつて、新装備で挑むことを誓いつつ後にした。(岡田)

### 自然保護委員会 18年度活動計画決める

去る2月28日(火)自然保護委員総会が、県スポーツ会館で行われ18人が出席した。冒頭、杉本委員長挨拶で会議が進められた。

#### 〔議題〕

1. 11月以降の活動報告
2. 平成18年度の活動計画
- ・6月10、11日 日山協自然保護委員会(大分県)
- ・6月13日 自然保護委員会(県スポーツ会館)

### 編集後記



- ・6月17、18日 自然保護指導員研修会(北谷小屋)
- ・10月28日 藤原岳植生保護会(御池岳周辺)
- ・10月29日 第21回自然観察会(御池岳周辺)
- ・11月21日 自然保護委員会(県スポーツ会館)
- 3. 自然保護指導員更新1名、新規なし

▼昨年末の記録的な大雪は、各地で甚大な被害をもたらした。この雪でスキー場はさぞ賑わっていただろうと思いきや、余りの雪の多さに交通がマヒし、雪崩の危険があったり、却ってスキーヤーが敬遠してしまった。

▼しかし、あの強い寒波も長続きしない。異常気象で一时的なドカ雪だった。暖かくなると豪雨や洪水被害も心配。やっぱ、地球温暖化現象が原因か?世界中の地球がどこかおかしい…。

▼当会常任理事の桑原禎藏さんが、11日から唐松岳へ3人をガイドし、下山途中吹雪になり雪洞を掘ってビバーク。天候悪化がつづき救助を要請し待ったが、15日ヘリに収容されるも既に死亡していた。ご冥福をお祈りします。(N)

安心して選べる三河地区のプロショップ

JR刈谷駅前

# 穂高

〒448 刈谷市桜町1-13  
TEL0566(23)8611  
定休日/火曜日  
営業時間/10:00~20:00

登山用品豊富!

ビギナーからエキスパートまで

名古屋駅前の山とスキーの専門店

# 駅前アルルス

〒450-0002 名古屋市中村区名駅四丁目11-27  
(第2トヨタビル東館1F)

TEL 052-565-1417

常任理事会

▼11月1日(火) OMCビル

〔出席者〕石川会長、安藤副会長、和田副理事長、渋谷、岩狭、高橋、関谷、杉本(憲) 梶川、角野各常任理事、中平等議長

I 報告事項

- 1. 少年少女登山教室(10/1 御在所岳) 桑原
- 2. 自然保護委員会(10/22 23藤原岳) 杉本(三)
- 3. 佐藤家から50万円寄贈の申し入れについて承認。
- 4. 第60回岡山国体(10/23 26) 北村

II 審議・お知らせ事項

- 1. 日山協・臨時理事会(11/13 東京) 安藤
- 2. 高体連新人大会(11/12 13 釈迦ヶ岳) 伊藤
- 3. 日山協・登攀技術研修会(11/12 13 山形) 岩瀬
- 4. 登山勉強会(11/15 県スポ) 岩瀬
- 5. 救助技術講習会(11/19 20 プッポウール) 杉本(三)
- 6. 自然保護委員会(11/22 県スポ) 杉本(三)
- 7. 日山協・自然保護委員長会(11/26 27) 杉本(三)
- 8. 「遭難を考える会」講演会(11/29 県スポ) 高橋
- 9. 冬山遭難対策会議(12/20 県スポ) 高橋
- 10. 岳連親睦スキー大会(2/5 イトシロ) 関谷

▼12月6日(火) OMCビル

〔出席者〕石川会長、北村理事長、和田、鈴木副理事長、杉本(三)、岩狭、角野、関谷、渋谷、杉本(憲) 各常任理事、中平等議長

I 報告事項

- 1. 日山協・臨時理事会(11/13 東京) 安藤
- 2. 高体連・新人大会(11/12 13 釈迦ヶ岳) 関谷
- 3. 日山協・登攀研修会(11/12 13) 岩瀬
- 4. 登山勉強会(11/15 県スポ) 岩瀬
- 5. 救助講習会(11/15 プッポウール) 高橋
- 6. 日山協・自然保護委員長会(11/26 27) 杉本
- 7. 「遭難を考える会」(11/29 県スポ) 高橋

II 審議・お知らせ事項

- 1. 冬山遭難対策会議(12/20 県スポ) 高橋
- 2. 高体連第2回登山部委員会(1/17) 関谷
- 3. 指導員集会(1/20 東京) 河
- 4. 岳連親睦スキー大会(2/5 イトシロ) 杉本(憲)
- 5. 指導員集会(2/14 名古屋) 岩瀬
- 6. 日山協海外登山研修会(2/18 19 八王子) 石川
- 7. 日山協・評議員会(2/19 東京) 北村
- 8. 自然保護委員会総会(2/21 県スポ) 杉本(三)
- 9. 来年度の会議室使用予定について(角野)

▼1月10日(火) OMCビル

〔出席者〕阿部副会長、北村理事長、角野、杉本(三)、高橋、関谷、渋谷、桑原、安井、杉本(憲)、梶田各常任理事、中平等議長

I 報告事項

- 1. 冬山遭難対策会議および冬山合宿(高橋)
- 2. ボルダリング大会
- 3. その他

II 審議・お知らせ事項

- 1. 指導員集会(1/20 三河地区) 岩瀬
- 2. 指導員岩登り検定会(1/22 南山) 岩瀬
- 3. 岳連親睦スキー大会(2/5 イトシロ) 杉本(憲)
- 4. 指導員集会(2/14 名古屋) 岩瀬
- 5. 日山協・海外登山研究会(2/18 19 八王子) 石川
- 6. 日山協・評議員会(2/19 東京) 北村
- 7. 自然保護委員長会(2/21 県スポ) 杉本(三)
- 8. 日山協・山岳レスキュー講習会(2/25 26 山形)
- 9. 山岳トライアル(3/12) 猿投山・国体予選会
- 10. クライミング国体予選会(4/9 OMC)

◆愛知岳連定期総会◆  
4月22日(土) 9:30~12:00  
◆春山遭難対策会議◆  
4月22日(土) 13:00~15:00  
(愛知県スポーツ会館)

(株)カジタックス



**KAJITAX**  
雪稜・氷壁・銀世界  
自然派のグッドパートナー

〒487-0024  
愛知県春日井市大留町598 ☎0568-51-5110, FAX51-7799



登山・スキー・アウトドア専門店  
**モンタニア**  
豊橋市萱町5 ☎0532-55-0125

「世界の山旅」  
トレッキングからエクスペディションまで!!

アルパインツアーはヒマラヤからカラコルム、カナディアンロッキー、ヨーロッパアルプス、アラスカ、USA、アンデス、南極、アフリカ、ニュージーランド、パタゴニア、中国、北極圏、日本、その他、世界中の山岳地域、辺境地域へのトレッキング・ハイキング・登山ツアーをご用意しています。ぜひ、「ツアーカタログ」「世界の山旅・辺境の旅」をご請求下さい。また、登山隊のために航空便の手配などのお手伝いもしています。私達の豊富な知識と経験をもとに随時ご相談に応じていますので、お気軽にお問い合わせ下さい。

運輸大臣登録一般旅行業第490号 日本旅行業協会正会員 IATA公認代理店  
**アルパインツアーサービス株式会社**  
〒450 名古屋市中村区名駅3-23-6 第2千禧ビル8階 TEL:052-581-3211